

ApresiaNP2500 シリーズ

AEOS-NP2500 Ver. 1.10

システムログ対応一覧

APRESIA Systems 株式会社

制定・改訂履歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2022年4月27日	<ul style="list-style-type: none"> • TD61-7429A AEOS-NP2500 Ver. 1.08 システムログ対応一覧より作成 • 全章を対象に誤字・脱字・体裁を修正 • 「1.1 AAA」を修正 • 「1.2 AccessDefender」を修正 • 「1.25 SDカードブート」を「1.4 ブート情報」に変更、記載位置変更 • 「1.7 Configuration / Firmware」を修正 • 「1.8 Console」を修正 • 「1.9 Counter」を修正 • 「1.11 DHCPv6 Client」を修正 • 「1.19 ループ検知」を修正 • 「1.24 Port」を修正 • 「1.25 Power」を修正 • 「1.27 SSH」を修正 • 「1.29 Storm Control」を修正 • 「1.30 スパニングツリープロトコル」を修正 • 「1.31 システム」を修正 • 「1.32 Telnet」を修正 • 「1.38 CPU使用率監視機能」を修正
A	2022年6月10日	<ul style="list-style-type: none"> • 全章を対象に誤字・脱字・体裁を修正 • 「1.2 AccessDefender」を修正 • 「1.27 SSH」を修正

目次

制定・改訂来歴表	1
はじめに	3
1 システムログのエントリー	4
1.1 AAA	4
1.2 AccessDefender	8
1.3 ARP	15
1.4 ブート情報	16
1.5 CFM	18
1.6 CFM Extension	21
1.7 Configuration / Firmware	23
1.8 Console	31
1.9 Counter	32
1.10 DHCPv4 Server	33
1.11 DHCPv6 Client	35
1.12 DHCPv6 Server	39
1.13 ERPS	41
1.14 Fan	42
1.15 L3 エントリー	43
1.16 LACP	44
1.17 ポートリダundant	47
1.18 LLDP	49
1.19 ループ検知	52
1.20 メモリーエラー自動復旧	55
1.21 MMRP-Plus	57
1.22 PoE	62
1.23 PD モニタリング	66
1.24 Port	68
1.25 Power	70
1.26 SNMP	71
1.27 SSH	72
1.28 スタック	74
1.29 Storm Control	80
1.30 スパニングツリープロトコル	82
1.31 システム	88
1.32 Telnet	94
1.33 Temperature	96
1.34 単方向リンク検出 (ULD)	97
1.35 Voice VLAN	98
1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)	99
1.37 システムメモリー使用率監視	104
1.38 CPU 使用率監視	106

はじめに

■適応機種と対応バージョン

製品名称	対応バージョン
ApresiaNP2500-8MT4X-PoE	AEOS-NP2500 Ver. 1.08.02～
ApresiaNP2500-16MT4X-PoE	AEOS-NP2500 Ver. 1.08.02～

■輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出、または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店、または当社の営業担当にお問い合わせください。

■使用条件と免責事項

ユーザーは、本製品を使用することにより、本ハードウェア内部で動作するルーティングソフトウェアを含むすべてのソフトウェア（以下、本ソフトウェアといたします）に関して、以下の諸条件に同意したものといたします。

本ソフトウェアの使用に起因する、または本ソフトウェアの使用不能によって生じたいかなる直接的、または間接的な損失・損害等（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損害を含み、これに限定されない）については、その責を負わないものとします。

- 本ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブルすることはできません。
- 本ソフトウェアを本ハードウェアから分離すること、または本ハードウェアに組み込まれた状態以外で本ソフトウェアを使用すること、または本ハードウェアでの使用を目的とせず本ソフトウェアを移動することはできません。
- 本ソフトウェアでは、本資料に記載しているログのみをサポートしています。

■商標登録

APRESIA は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

AEOS は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

MMRP は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

AccessDefender は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

Ethernet およびイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

1 システムログのエントリー

装置のシステムログに記録されるエントリーとログの内容を、以下に示します。

1.1 AAA

ログ表示	AAA is enabled AAA is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能のグローバル設定が有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Successful login through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置へのログインに成功したことを示します。
パラメーター	<exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。 <client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。 <aaa-method> : 認証方法 (local, server, none) を示します。 <server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。 <user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Login failed through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置へのログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。 <client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。

1.1 AAA

	<p><aaa-method> : 認証方法 (local, server) を示します。</p> <p><server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>認証方法、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が local の場合、ローカルのデータベースにおけるユーザー定義が正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が server の場合、AAA サーバーのユーザー定義ファイルが正しく定義されているか確認してください。</p>

ログ表示	Login failed through <exec-type> from <client-ip> due to AAA server <server-ip> timeout (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置へのログイン時に、AAA サーバーのタイムアウトによりログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<p><exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	AAA サーバーが正しく接続されているか、正しく起動しているか確認してください。

ログ表示	Successful enable privilege through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置で、特権実行モードへの遷移が成功したことを示します。
パラメーター	<p><exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><aaa-method> : 認証方法 (local, server, none) を示します。</p>

1.1 AAA

	<p><server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Enable privilege failed through <exec-type> from <client-ip> authenticated by AAA <aaa-method> <server-ip> (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置で、特権実行モードへの遷移が失敗したことを示します。
パラメーター	<p><exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><aaa-method> : 認証方法 (local, server) を示します。</p> <p><server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>認証方法、enable パスワードが正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が local の場合、enable パスワード設定が正しいか確認してください。</p> <p>認証方法が server の場合、AAA サーバーのユーザー定義ファイルが正しく定義されているか確認してください。</p>

ログ表示	Enable privilege failed through <exec-type> from <client-ip> due to AAA server <server-ip> timeout (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が有効な装置で、AAA サーバーのタイムアウトにより特権実行モードへの遷移が失敗したことを示します。
パラメーター	<p><exec-type> : セッション種別 (Console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><server-ip> : AAA サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> :</p>

1.1 AAA

	ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	AAA サーバーが正しく接続されているか、正しく起動しているか確認してください。

1.2 AccessDefender

ログ表示	A-Def : <auth-type> : login succeeded : [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> [vid=<vlan-id>] [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>] [time=<time>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログインに成功したことを示します。
パラメーター	<p><auth-type> : 認証端末がログインする認証アルゴリズムを示します。「web」、「gateway」、「mac」、「dot1x」、「dhcpsnooping」、または「static」のいずれかを示します。</p> <p><user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。</p> <p><mac-address> : 認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場合は出力されません。</p> <p><ip-address> : 認証端末の IP アドレスを示します。MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、IEEE 802.1X/MAC 認証 (AND)、スタティック認証の場合は出力されません。 AEOS-NP2500 Ver. 1.10.02 以降で、「ARP スヌーピング」「アカウントティング遅延設定 (aaa accounting delay-start)」「AccessDefender のアカウントティング (aaa accounting network)」を併用している場合は、ARP スヌーピングで IP アドレス情報を取得できれば、MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、IEEE 802.1X/MAC 認証 (AND) でも出力されるようになります。</p> <p><interface-id> : 認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。</p> <p><vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。認証アルゴリズムが「static」の場合は出力されません。</p> <p><target-vlan-id> : 認証済み端末の VLAN ID を示します。VLAN ID がない場合は出力されません。</p> <p><class-id> : 認証済み端末のクラス ID を示します。クラス ID がない場合は出力されません。</p> <p><time> : ログインに成功した時間を示します。AEOS-NP2500 Ver. 1.10.02 以降で、「ARP スヌーピング」「アカウントティング遅延設定 (aaa accounting delay-start)」「AccessDefender のアカウントティング (aaa accounting network)」を併用している場合に、MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、IEEE 802.1X/MAC 認証 (AND) で出力されます。</p>
対象バージョン	1.08.02 1.10.02 : ip=<ip-address>の表示仕様を変更、time=<time>を追加
対応	不要

1.2 AccessDefender

ログ表示	A-Def : <auth-method> [<ip-address>] : authentication succeeded : uid=<user-name>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証に成功したことを示します。
パラメーター	<p><auth-method> : 認証に成功したときに認証アルゴリズムが使用する認証方式を示します。「radius」、「local」、または「force」のいずれかを示します。</p> <p><ip-address> : RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「local」、および「force」の場合は出力されません。</p> <p><user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-type> : login failed (<reason>): [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> vid=<vlan-id> [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログインに失敗したことを示します。
パラメーター	<p><auth-type> : 認証端末がログインする認証アルゴリズムを示します。「web」、「gateway」、「mac」、「dot1x」、または「dhcpsnooping」のいずれかを示します。</p> <p><reason> : ログインに失敗した原因を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • auth fail : 認証に失敗しました。 • dynamic port-base : 接続しようとするポートがダイナミックポートベースモードで、そのポートにすでに認証済み端末が接続されているか、または、他の認証端末が新たに割り当てようとしている VLAN が、すでに割り当てられている VLAN と異なります。 • ttl=<TTL> : 認証パケットの TTL (Time To Live) が設定値と一致しません。 • max per device : 装置で認証できる端末の最大数に達しています。 • max per interface : インターフェースで認証できる端末の最大数に達しています。 • dynamic vlan hash collision : SW-LSI MAC ベースの VLAN テーブルでハッシュが衝突し、動的な VLAN の割り当てに失敗しました。 • auth fail due to the previous authentication not passed : AND 認証において直前の認証に失敗しているためログインできません。 <p><user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。</p>

1.2 AccessDefender

	<p><mac-address> : 認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場合は出力されません。</p> <p><ip-address> : 認証端末の送信元 IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「mac」、「dot1x」、および「static」の場合は出力されません。</p> <p><interface-id> : 認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。</p> <p><vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。</p> <p><target-vlan-id> : 認証端末が動的な VLAN 認証による認証には成功したが、その他の理由で認証に失敗した場合に出力されます。</p> <p><class-id> : 認証端末がクラス ID 認証による認証には成功したが、その他の理由で認証に失敗した場合に出力されます。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-method> [<ip-address>] : authentication failed : uid=<user-name>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証に失敗したことを示します。
パラメーター	<p><auth-method> : 認証に失敗したときに認証アルゴリズムが使用する認証方式を示します。「radius」または「local」のいずれかを示します。</p> <p><ip-address> : RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。認証アルゴリズムが「local」、および「force」の場合は出力されません。</p> <p><user-name> : 認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	A-Def : <auth-type> : logout (<reason>) : [uid=<user-name>] [mac=<mac-address>] [ip=<ip-address>] interface <interface-id> [vid=<vlan-id>] [new vid=<target-vlan-id>] [class=<class-id>] [incoming interface <interface-id>]
レベル	Notification (5)
イベントの説明	認証端末がログアウトしたことを示します。
パラメーター	<p><auth-type> : 認証端末がログインした認証アルゴリズムを示します。「web」、</p>

「gateway」、「mac」、「dot1x」、「dhcpsnooping」、または「static」のいずれかを示します。

<reason> :

ログアウトした原因を示します。

- aging : 無通信の認証済みクライアントのエージングログアウト時間が経過しました。
- clock : ログアウトの指定時刻になりました。
- web : 認証ログインページでログアウトボタンを押しました。
- maxtime : 最大接続時間が経過しました。
- cli : access-defender logout コマンドを実行しました。
- config change : 設定が変更されました。
- link-down : インターフェースがリンクダウンしました。
- overwrite : 認証済み端末が異なるポートに接続し、認証情報を上書きしようとした。
- logoff : ログオフを受信しました。
- reauth failure : 再認証に失敗しました。
- reauth failure supp-timeout : 再認証時にサブリカントからの応答がありません。
- reauth vlan change : 再認証時に VLAN の変更を検知しました。
- reauth user name change : 再認証時にユーザー名の変更を検知しました。
- reauth class change : 再認証時にクラス ID の変更を検知しました。
- port initialization : インターフェースの設定が初期化されました。
- release : IP アドレスがリリースされました。
- expire : IP アドレスのリース期間が切れしました。
- ping : PING ログアウト機能の条件を満たす ICMP Request パケットを受信しました。

<user-name> :

認証端末がログインする際に使用したユーザー名を示します。認証アルゴリズムが「dhcpsnooping」の場合は出力されません。

<mac-address> :

認証端末の MAC アドレスを示します。認証アルゴリズムが「gateway」の場合は出力されません。

<ip-address> :

認証端末の IP アドレスを示します。MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、IEEE 802.1X/MAC 認証(AND)、スタティック認証の場合は出力されません。

AEOS-NP2500 Ver. 1.10.02 以降で、「ARP スヌーピング」「アカウントティング遅延設定(aaa accounting delay-start)」「AccessDefender のアカウントティング(aaa accounting network)」を併用している場合に、ログイン時に IP アドレス情報を取得できていれば、MAC 認証、IEEE 802.1X 認証、IEEE 802.1X/MAC 認証(AND)でも出力されるようになります。また、AEOS-NP2500 Ver. 1.10.02 以降で「DHCP スヌーピング」を併用している場合は、MAC 認証、IEEE 802.1X 認証でも出力されるようになります。

<interface-id> :

認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。

1.2 AccessDefender

	<p><vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。認証アルゴリズムが「static」の場合は出力されません。</p> <p><target-vlan-id> : 認証済み端末の VLAN ID を示します。VLAN ID がない場合は出力されません。</p> <p><class-id> : 認証済み端末のクラス ID を示します。クラス ID がない場合は出力されません。</p> <p>incoming interface <interface-id> : 認証済み端末が異なるポートに接続することによってログアウトした場合に、その移動先のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。<reason>が「overwrite」の場合のみ表示されます。</p>
対象バージョン	1. 08. 02 1. 10. 02 : ip=<ip-address>の表示仕様を変更
対応	不要

ログ表示	A-Def : radius <ip-address> timeout : uid=<user-name>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	RADIUS サーバーから応答がなかったことを示します。
パラメーター	<p><ip-address> : RADIUS サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><user-name> : 認証のユーザー名を示します。</p>
対象バージョン	1. 08. 02
対応	RADIUS サーバーとの通信状態を確認してください。

ログ表示	A-Def : dhcpsnooping : Mode-Timer started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP スヌーピングの動作モード自動切り替えタイマーが設定され、開始されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1. 08. 02
対応	不要

ログ表示	A-Def : dhcpsnooping : mode changed to <status> <method>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP スヌーピングの動作モードが切り替わったことを示します。
パラメーター	<p><status> : DHCP スヌーピングの動作モードを示します。「PERMIT」または「DENY」のいずれかを示します。</p>

1.2 AccessDefender

	<p><method> :</p> <p>DHCP スヌーピングの動作モードの切り替え方法を示します。「automatically」または「manually」のいずれかを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>A-Def : dhcpsnooping : mode changed to mac-authentication mode enable</p> <p>A-Def : dhcpsnooping : mode changed to mac-authentication mode disable</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	dhcp-snooping mode mac-authentication コマンドで、DHCP スヌーピングの MAC 認証モードが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	A-Def : <ip-address>(<user-agent>) <http-method> <URL>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Web 認証用の Web サーバーまたは HTTP/HTTPS プロキシリダイレクトのアクセスがあったことを示します。このログは、web-authentication logging web-access on コマンドでアクセスログが有効になっている場合のみ出力されます。
パラメーター	<p><ip-address> :</p> <p>ホストの IP アドレスを示します。</p> <p><user-agent> :</p> <p>ホストからの HTTP/HTTPS パケットのユーザーエージェントを示します。</p> <p><http-method> :</p> <p>ホストからの HTTP/HTTPS パケットの HTTP メソッドを示します。「GET」または「POST」のいずれかを示します。</p> <p><URL> :</p> <p>ホストからの HTTP/HTTPS パケットの URL 情報を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>A-Def : authentication is not permitted (<reason>): [mac=<mac-address>]</p> <p>[ip=<ip-address>] interface <interface-id> vid=<vlan-id></p>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	最大認証端末数に達した状態で、認証ポートに新しい認証端末を検出したことを示します。
パラメーター	<p><reason> :</p> <p>認証端末が認証を許可されなかった原因を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • max per device : 装置の最大認証端末数に達しました。 • max per interface : インターフェースの最大認証端末数に達しました。

1.2 AccessDefender

	<p><mac-address> : 認証端末の MAC アドレスを示します。ゲートウェイ認証の場合は表示されません。</p> <p><ip-address> : 認証端末の IP アドレスを示します。MAC 認証、Web 認証、IEEE 802.1X 認証の場合は表示されません。ゲートウェイ認証の場合に表示されます。</p> <p><interface-id> : 認証端末のインターフェース ID を示します。「port 1/0/1」または「port-channel 1」のように出力されます。</p> <p><vlan-id> : 認証端末が所属していた元の VLAN ID を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.3 ARP

ログ表示	Conflict IP was detected with this device (IP: <ip-address>, MAC: <mac-address>, Port<port>, Interface: <ipif-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	Gratuitous ARP リクエストで、重複した IP が検知されたことを示します。本ログは 1 分ごとに検出します。
パラメーター	<p><ip-address> : 本装置と重複する IP アドレスを示します。</p> <p><mac-address> : 本装置と IP アドレスが重複する装置の MAC アドレスを示します。</p> <p><port> : 重複を検知したポート番号を示します。マネージメントポートで検知した場合には"Port<port>"の代わりに"mgmt_port"と表示されます。</p> <p><ipif-name> : 重複を検知した IP インターフェースの名前を示します。マネージメントポートで検知した場合には"mgmt_ipif"と表示されます。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	本装置と他装置の IP アドレスが重複しないように設定しなおしてください。

1.4 ブート情報

ログ表示	Booted from primary firmware <URL>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	プライマリーブートイメージで装置が起動したことを示します。SDカードブートで起動した場合は、<URL>は /d:/apresia-software.had と表示されます。
パラメーター	<URL> : プライマリーブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Booted from secondary firmware <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	セカンダリーブートイメージで装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : セカンダリーブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Booted from firmware <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	プライマリーブートイメージ、およびセカンダリーブートイメージが使用できず、その他のブートイメージファイルが読み込まれて装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : ブートイメージファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Booted with primary configuration <URL>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	プライマリー構成情報で装置が起動したことを示します。SDカードブートで起動した場合は、<URL>は /d:/apresia-startup-config.txt と表示されます。
パラメーター	<URL> : プライマリー構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.4 ブート情報

ログ表示	Booted with secondary configuration <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	セカンダリー構成情報で装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : セカンダリー構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Booted with configuration <URL>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	プライマリー構成情報、およびセカンダリー構成情報が使用できず、その他の構成情報ファイルが読み込まれて装置が起動したことを示します。
パラメーター	<URL> : 構成情報ファイルのパスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Booted with default configuration
レベル	Alert (1)
イベントの説明	プライマリー構成情報、セカンダリー構成情報、およびその他の構成情報ファイルが使用できず、デフォルト設定で装置が起動したことを示します。なお、本ログが出力されてデフォルト設定で装置が起動する際は、全ポート shutdown 設定で起動します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.5 CFM

ログ表示	CFM cross-connect. VLAN:<vlan-id>, Local (MD Level:<md-level>, Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>) Remote (MEPID:<mep-id>, MAC:<mac-address>)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	クロスコネクトが検知されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : 「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。値が 0 の場合、不明な MEPID を意味します。 <mac-address> : MEP の MAC アドレスを示します。値がすべて 0 の場合、不明な MAC アドレスを意味します。
対象バージョン	1.08.02
対応	CFM 機能を設定しているポートの接続、および本装置と隣接装置の設定を確認してください。

ログ表示	CFM error ccm. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>) Remote (MEPID:<mep-id>, MAC:<mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	エラーの CFM CCM パケットが検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : 「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。値が 0 の場合、不明な MEPID を意味します。 <mac-address> : MEP の MAC アドレスを示します。値がすべて 0 の場合、不明な MAC アドレスを意味します。

1.5 CFM

対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote down. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモート MEP の CCM パケットを受信できないことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote MAC error. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リモート MEP で MAC アドレスのエラー状態を検知したことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置のCFM機能の設定、および状態を確認してください。

ログ表示	CFM remote detects a defect. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	リモート MEP で CFM の不備を検知したことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> :

1.5 CFM

	MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP の インターフェイス番号を示します。 <mep-direction> : MEP の 方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置の CFM 機能の設定、および状態を確認してください。

1.6 CFM Extension

ログ表示	AIS condition detected. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	AIS 状態が検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置の状態を確認してください。

ログ表示	AIS condition cleared. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	AIS 状態が解消されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.6 CFM Extension

ログ表示	LCK condition detected. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LCK 状態が検知されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	CFM 機能を設定しているポートの接続、および本装置と隣接装置の設定を確認してください。

ログ表示	LCK condition cleared. MD Level:<md-level>, VLAN:<vlan-id>, Local (Interface:<interface-id>, Direction:<mep-direction>, MEPID:<mep-id>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LCK 状態が解消されたことを示します。
パラメーター	<md-level> : MEP の MD レベルを示します。 <vlan-id> : MEP の VLAN ID を示します。 <interface-id> : MEP のインターフェース番号を示します。 <mep-direction> : MEP の方向を示します。「inward」または「outward」のいずれかを示します。 <mep-id> : MEP の MEPID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.7 Configuration / Firmware

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Firmware upgraded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Firmware upgraded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファームウェアが正常にアップグレードされたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー元ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Firmware upgraded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Firmware upgraded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ファームウェアのアップグレードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p>

1.7 Configuration / Firmware

	<p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー元ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。</p> <p>指定したファイル名が正しいか確認してください。</p> <p>指定したファイルが正常なファイルか確認してください。</p>

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Firmware uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Firmware uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファームウェアが正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>

1.7 Configuration / Firmware

対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Firmware uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Firmware uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ファームウェアのアップロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Configuration downloaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Configuration downloaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報が正常にダウンロードされたことを示します。
パラメーター	<unit-id> :

	<p>ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー元ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1. 08. 02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Configuration downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Configuration downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	構成情報のダウンロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー元ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1. 08. 02

1.7 Configuration / Firmware

対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。 指定したファイル名が正しいか確認してください。 指定したファイルが正常なファイルか確認してください。
----	--

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Configuration uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Configuration uploaded by <session> successfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報が正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Configuration uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Configuration uploaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	構成情報のアップロードが失敗したことを示します。

1.7 Configuration / Firmware

パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Log message uploaded by <session> successfully. (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Log message uploaded by <session> successfully. (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ログメッセージが正常にアップロードされたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>

1.7 Configuration / Firmware

対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Log message uploaded by <session> unsuccessfully. (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Log message uploaded by <session> unsuccessfully. (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ログメッセージのアップロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー先ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Downloaded by <session> unsuccessfully (Username: <user-name>, IP: <client-ip>, MAC: <client-mac>, Server IP: <server-ip>, File Name: <filename>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	未知のタイプのファイルのダウンロードが失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> :

1.7 Configuration / Firmware

	<p>ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><session> : セッション種別 (console, SSH, Telnet) を示します。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p> <p><client-mac> : SSH, Telnet セッションのクライアントの MAC アドレスを示します。クライアントが別ネットワークの場合は 00-00-00-00-00-00 と表示されます。</p> <p><server-ip> : TFTP/FTP サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><filename> : コピー元ファイル名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>指定した IP アドレスが正しいか、通信可能な状態か確認してください。</p> <p>指定したファイル名が正しいか確認してください。</p> <p>指定したファイルが正常なファイルか確認してください。</p>

ログ表示	<p>■ 非スタック装置</p> <p>Configuration saved to flash by console (Username: <user-name>) Configuration saved to flash (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)</p> <p>■ スタック構成</p> <p>Unit <unit-id>, Configuration saved to flash by console (Username: <user-name>) Unit <unit-id>, Configuration saved to flash (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	構成情報がフラッシュに保存されたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。</p> <p><user-name> : ユーザー名を示します。</p> <p><client-ip> : SSH, Telnet セッションのクライアントの IP アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.8 Console

ログ表示	Successful login through Console (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、コンソール経由のログインに成功したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン成功ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Login failed through Console (Username: <user-name>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、コンソール経由のログインに失敗したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン失敗ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

ログ表示	Logout through Console (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	コンソール経由のセッションからログアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Console session timed out (Username: <user-name>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	コンソール経由のセッションがタイムアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.9 Counter

ログ表示	Detected <counter> <error-counter-name> on mgmt0
レベル	Notification (5)
イベントの説明	マネージメントポートにおいて、エラーカウンターのカウントを検知したことを示します。
パラメーター	<p><counter> : カウント数を示します。</p> <p><error-counter-name> : エラーカウンターの名前を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • rxFCSErrorPkts • rxAlignmentErrorPkts • rxCodeErrorPkts • rxUndersizedPkts • rxOversizedPkts • rxFragmentPkts • rxJabbers • rxDropPkts • txExcessiveDeferralPkts • txFCSErrorPkts • txLateCollisionPkts • txExcessiveCollisionPkts • txDropPkts
対象バージョン	1.08.02
対応	ケーブルの挿抜による場合と、半二重通信に起因する場合は対応不要です。本ログが頻繁に発生する場合は、隣接装置と本装置、伝送路について接続状態、および設定を確認してください。

1.10 DHCPv4 Server

ログ表示	DHCP server
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーが有効化されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	DHCPDISCOVER from <mac-address> via <vlan-name giaddr>:unknown network segment
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCP サーバー機能または DHCP リレー機能において、不明ネットワークセグメントからの DHCP DISCOVER パケットを受信したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : DHCP クライアントの MAC アドレスを示します。 <vlan-name> : DHCP DISCOVER パケットを受信した VLAN 名を示します。 <giaddr> : パケットから取得したリレーエージェント IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCP サーバー機能または DHCP リレー機能に関する設定内容を確認してください。

ログ表示	Packet from unknown subnet: <ip-address>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	パケットの送信元を識別できないことを示します。
パラメーター	<ip-address> : 未知の IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	DHCPREQUEST for <client-ip> (<server-ip>) from <mac-address> (<host-name>) via <vlan-name giaddr>: lease <client-ip> unavailable
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーにおいて割り当てられる IP アドレスがないことを示します。
パラメーター	<client-ip> : DHCP クライアントが要求した IP アドレスを示します。 <server-ip> :

1.10 DHCPv4 Server

	<p>DHCPv4 サーバーの IP アドレスを示します。</p> <p><mac-address> : DHCP クライアントの MAC アドレスを示します。</p> <p><host-name> : DHCP クライアントのホスト名を示します。</p> <p><vlan-name> : DHCPv4 サーバーが有効化された VLAN 名を示します。</p> <p><giaddr> : パケットから取得したリレーエージェント IP アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Cannot send packet
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv4 サーバーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 装置の設定状態 • 回線、および接続ポートの異常有無

1.11 DHCPv6 Client

ログ表示	DHCPv6 client on interface <ipif-name> changed state to enabled DHCPv6 client on interface <ipif-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 address dhcp コマンドで DHCPv6 クライアントが有効、または無効に設定されたことを示します。
パラメーター	<ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	DHCPv6 client obtains an IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 クライアントは、DHCPv6 サーバーから IPv6 アドレスを取得したことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> starts renewing
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスの更新を開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。 <ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> renews success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスは、正常に更新されたことを示します。

1.11 DHCPv6 Client

パラメーター	<p><ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p><ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> starts rebinding
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスのリバインディングを開始したことを示します。
パラメーター	<p><ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p><ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> rebinds success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスは、正常にリバインディングされたことを示します。
パラメーター	<p><ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p><ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 address <ipv6-address> on interface <ipif-name> was deleted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスが削除されたことを示します。
パラメーター	<p><ipv6-address> : DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを示します。</p> <p><ipif-name> : DHCPv6 クライアントインターフェースの名前を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.11 DHCPv6 Client

ログ表示	DHCPv6 client PD on interface <intf-name> changed state to enabled DHCPv6 client PD on interface <intf-name> changed state to disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	対象 VLAN インターフェースにおいて、ipv6 dhcp client pd コマンドで DHCPv6-PD クライアントが有効、または無効に設定されたことを示します。
パラメーター	<intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	DHCPv6 client PD obtains an IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 クライアント PD は、委譲ルーターから IPv6 プレフィックスを取得したことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した ipv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name> starts renewing
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスの更新を開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name> renews success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスが正常に更新されたことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。

1.11 DHCPv6 Client

	<intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name> starts rebinding
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスのリバインディングを開始したことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name> rebinds success
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを正常にリバインディングしたことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	The IPv6 prefix <ipv6-prefix> on interface <intf-name> was deleted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスが削除されたことを示します。
パラメーター	<ipv6-prefix> : 委譲ルーターから取得した IPv6 プレフィックスを示します。 <intf-name> : DHCPv6 クライアント PD インターフェースの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.12 DHCPv6 Server

ログ表示	The address of the DHCPv6 Server pool <pool-name> is used up
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバープールのアドレスを使い切ったことを示します。
パラメーター	<pool-name> : DHCPv6 サーバープールの名前を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCPv6 サーバープールにおいて割り当て可能なアドレス数の設定を見直してください。

ログ表示	The number of allocated IPv6 addresses of the DHCPv6 Server pool is equal to 448
レベル	Informational (6)
イベントの説明	割り当て済み IPv6 アドレス数が、448 になったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCPv6 クライアントが上限 (448) を超えないようにしてください。

ログ表示	DHCPv6 server
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーが有効化されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	No subnet found for link-addr: <ipv6-address>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーにおいて、DHCPv6 リレーパケットを受信したが、中継元ネットワークのサブネット情報が存在しないことを示します。
パラメーター	<ipv6-address> : リレーされたパケットから取得した IPv6 リンクアドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCP サブネット定義を見直してください。

ログ表示	<dhcpv6-type> from <client-duid> via <vlan-name> not leased status=NoAddrsAvail
レベル	Informational (6)

1.12 DHCPv6 Server

イベントの説明	DHCPv6 サーバーにおいて割り当てられる IPv6 アドレスがないことを示します。
パラメーター	<p><dhcpv6-type> : DHCPv6 メッセージタイプを示します。</p> <p><client-duid> : DHCPv6 クライアントの DUID を示します。</p> <p><vlan-name> : 受信したパケットから取得した VLAN 名を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	割り当てる IPv6 アドレスの範囲を見直してください。

ログ表示	Cannot send packet6
レベル	Error (3)
イベントの説明	DHCPv6 サーバーがパケットを送信できないことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>装置の設定、または回線に異常が発生している可能性がありますので、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 装置の設定状態 • 回線、および接続ポートの異常有無

ログ表示	A problem was encountered with the process
レベル	Informational (6)
イベントの説明	DHCPv6 サーバードプロセスが異常であることを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	clear ipv6 dhcp binding コマンドを実行して復旧させてください。

1.13 ERPS

ログ表示	Signal fail detected on node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	1つのリングノードで信号障害を検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ERPS 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。意図的な障害であれば対応は不要です。

ログ表示	Signal fail cleared on node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	1つのリングノードの信号障害が解消されたことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	RPL owner conflict on the node (MAC: <mac-address>, instance <erps-instance>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	リング RPL オーナーノードで他の RPL オーナーノードを検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : ノードのシステム MAC アドレスを示します。 <erps-instance> : ノードのインスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	本装置、および同一リング内の装置の ERPS 設定を見直してください。

1.14 Fan

ログ表示	Unit <unit-id>, Back Fan <fan-id> failed
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ファンが異常であることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-id> : ファン ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	show unit コマンド、および show environment コマンドで状況を確認後、show tech-support コマンドで各種情報を取得し、必要があれば装置交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Back Fan <fan-id> back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファンが復旧したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <fan-id> : ファン ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.15 L3 エントリー

ログ表示	L3 host <ip-address> could not be added to the cache table
レベル	Warning (4)
イベントの説明	L3 エントリーがハッシュ衝突でエントリー登録できないことを示します。
パラメーター	<ip-address> : L3 エントリーがハッシュ衝突でエントリー登録できない IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.16 LACP

ログ表示	Link Aggregation Group <group-id> link up
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートチャネルグループがリンクアップしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : リンクアップしたポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Link Aggregation Group <group-id> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	ポートチャネルグループがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : リンクダウンしたポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的なリンクダウンであれば対応は不要です。 LACP の他のいずれかのポートが Up であれば通信可能ですが、ネットワーク機器、または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	<ifname> attach to Link Aggregation Group <group-id>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	メンバーポートがポートチャネルグループに所属したことを示します。
パラメーター	<ifname> : ポートチャネルに所属するポートのインターフェース名を示します。 <group-id> : ポートの所属先ポートチャネルのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<ifname> detach from Link Aggregation Group <group-id>
レベル	Error (3)
イベントの説明	メンバーポートがポートチャネルグループから離脱したことを示します。
パラメーター	<ifname> : ポートチャネルから離脱するポートのインターフェース名を示します。 <group-id> : ポートを離脱するポートチャネルのグループ ID を示します。

1.16 LACP

対象バージョン	1.08.02
対応	意図的なリンクダウンであれば対応は不要です。 LACP の他のいずれかのポートが Up であれば通信可能ですが、ネットワーク機器、または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> detected multiple system-id on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	同じ LACP 上で複数の装置が接続されたことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ポートチャンネルグループ<group-id>に接続された対向装置が複数に跨がっているか、もしくはシステム ID、システム優先度のいずれかの設定が誤っている可能性があります。ポートチャンネルグループ<group-id>に接続された対向装置、および装置の LACP 設定を確認してください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> detected timeout mismatch on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	LACP タイムアウト設定の誤りを検知したことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	本装置または対向装置の LACP タイムアウト設定を見直し、本装置と対向装置で LACP タイムアウト設定を揃えてください。

ログ表示	LACP: LAG <group-id> LACPDU receive timer expired on <ifname>
レベル	Error (3)
イベントの説明	LACP タイマーが満了したことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートチャンネルのグループ ID を示します。 <ifname> : ポートのインターフェース名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ポートがリンクダウンしている場合、対応は不要です。 ポートがリンクアップしている場合、接続している対向装置のポートが LACP ポートでないか、もしくは伝送路に障害が発生した可能性があります。対向装

1.16 LACP

	置のポート設定、および伝送路を確認してください。
--	--------------------------

1.17 ポートリダンダント

ログ表示	Redundant <group-id>: Active interface has been changed to secondary <port-num>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	アクティブポートがプライマリーからセカンダリーに切り替わったことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。 <port-num> : セカンダリーポートのポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	計画的なリンクダウンか、もしくは設定変更があった場合は、対応は不要です。 ポートリダンダント機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	Redundant <group-id>: Active interface has been changed to primary <port-num>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	アクティブポートがセカンダリーからプライマリーに切り戻ったことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。 <port-num> : プライマリーポートのポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Redundant <group-id>: All interfaces go down
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートリダンダントのメンバーポートが、すべてリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<group-id> : ポートリダンダントグループのグループ ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

1.17 ポートリダンダント

ログ表示	Redundant: All FDB entries have been deleted by receiving FDB Flush frame.
レベル	Warning (4)
イベントの説明	装置が FDB フラッシュフレームを受信し、MAC アドレステーブルのすべてのエントリをクリアしたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.18 LLDP

ログ表示	LLDP-MED topology change detected on port <port-num>. (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LLDP-MED トポロジーの変更が検知されたことを示します。
パラメーター	<p><port-num> : ポート番号を示します。</p> <p><chassis-type> : シャーシ ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) <p><chassis-id> : シャーシ ID を示します。</p> <p><port-type> : ポート ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) <p><port-id> : ポート ID を示します。</p> <p><device-class> : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Conflict LLDP-MED device type detected on port <port-num>, (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	LLDP-MED 装置タイプの不一致が検知されたことを示します。

パラメーター	<p><port-num> : ポート番号を示します。</p> <p><chassis-type> : シャーシ ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) <p><chassis-id> : シャーシ ID を示します。</p> <p><port-type> : ポート ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) <p><port-id> : ポート ID を示します。</p> <p><device-class> : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置の LLDP 設定を確認してください。

ログ表示	Incompatible LLDP-MED TLV set detected on port <port-num>, (chassis id: <chassis-type>, <chassis-id>, port id: <port-type>, <port-id>, device class: <device-class>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	互換性のない LLDP-MED TLV セットが検知されたことを示します。
パラメーター	<p><port-num> : ポート番号を示します。</p> <p><chassis-type> : シャーシ ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4)

	<ul style="list-style-type: none"> • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) <p><chassis-id> : シャーシ ID を示します。</p> <p><port-type> : ポート ID サブタイプを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) <p><port-id> : ポート ID を示します。</p> <p><device-class> : LLDP-MED 装置タイプを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	隣接装置の LLDP 設定を確認してください。

ログ表示	LLDP disabled port <port-num> by error
レベル	Error (3)
イベントの説明	疑似リンクダウン機能によって疑似リンクダウン状態へ遷移したことを示します。
パラメーター	<port-num> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	通信経路の通信に障害が発生している可能性があります。伝送路、SFP/SFP+ ポート、および装置状態を確認して通信障害を復旧させてください。

ログ表示	LLDP reset port <port-num>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	疑似リンクダウン状態からリンクアップ状態へ遷移したことを示します。
パラメーター	<port-num> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.19 ループ検知

ログ表示	<interface-id> loop occurred
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースでループを検知したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : ループが検知されているインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）でネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定（errdisable recovery cause loop-detection コマンド）の場合は、シャットダウン（err-disabled 状態に変更）されてから設定した時間が経過すると、インターフェースの閉塞は自動的に復旧されます。</p> <p>シャットダウン（err-disabled 状態に変更）されたインターフェースを手動で復旧させる場合は、shutdown コマンドで一度閉塞してから、no shutdown コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。</p>

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> loop occurred
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN でループを検知したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : ループが検知されているインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : ループが検知されている VLAN を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）の特定 VLAN でネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定（errdisable recovery cause loop-detection コマンド）の場合は、対象 VLAN が送受信不可状態に変更されてから設定した時間が経過すると、送受信不可状態は自動的に復旧されます。</p> <p>送受信不可状態に変更された対象 VLAN を手動で復旧させる場合は、対象インターフェースを shutdown コマンドで一度閉塞してから、no shutdown コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。対象インターフェースを一度閉塞するため、そのインターフェースのすべての通信が一時的に通信断になることに注意してください。</p>

ログ表示	<interface-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state automatically
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで検知したループが、自動的に復旧したことを示します。

1.19 ループ検知

パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state manually
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで検知したループが、手動で復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state automatically
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN で検知したループが、自動的に復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : 復旧した VLAN を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	検知したインターフェース（ポート、ポートチャネル）の特定 VLAN でネットワークループが発生していた可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

ログ表示	<interface-id> VLAN <vlan-id> recovers from Loopback Detection err-disabled state manually
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースの特定 VLAN で検知したループが、手動で復旧したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 復旧したインターフェース ID を示します。 <vlan-id> : 復旧した VLAN を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.19 ループ検知

ログ表示	Loop VLAN numbers overflow
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ループを検知した VLAN 数がループ検知可能な最大数（装置全体で最大 100 個）を超えたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	ループを検知した VLAN 数がループ検知可能な最大数を超えた状態では、それ以上ループを検知できません。そのため、ループ検知ログが出力されていない VLAN でもネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因が残っている場合は取り除いてください。

1.20 メモリーエラー自動復旧

ログ表示	Detected system-abnormal (Unit <unit-id>, memory-error, action=shutdown)
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	SW-LSI のメモリーエラー検知により、全ポートのシャットダウンが実行されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	メモリーエラー自動復旧機能が無効の場合には、clear memory-error コマンドを実行して SW-LSI のメモリーエラー状態を復旧させてください。 clear memory-error コマンドを実行しても、すぐにメモリーエラーを検知する場合には、SW-LSI のメモリー障害の可能性がります。装置交換をご検討ください。

ログ表示	Memory error of switch LSI was recovered automatically (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	メモリーエラー自動復旧機能で SW-LSI メモリーのパリティエラーが自動復旧されたこと、または SW-LSI メモリーの ECC エラーが自動訂正されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Hardware error was detected on switch LSI
レベル	Alert (1)
イベントの説明	以下のような SW-LSI ハードウェアエラーが検知されると通知が送信されます。 <ul style="list-style-type: none"> SW-LSI の同じメモリー領域で、メモリーエラーの検出および復旧アクションが 10 回以上動作して、監視対象外になった場合。 SW-LSI の復旧不能なメモリーエラーが検出された場合。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	SW-LSI のメモリー障害の可能性がります。装置交換をご検討ください。

ログ表示	Hardware errors were fixed on switch LSI
レベル	Notification (5)
イベントの説明	「SW-LSI の同じメモリー領域で、メモリーエラーの検出および復旧アクションが 10 回以上動作して、監視対象外になった状態」で clear memory-error コマ

1.20 メモリーエラー自動復旧

	<p>ンドを実行し、メモリーエラー自動復旧機能をリストアした場合に通知が送信されます。</p> <p>なお、「SW-LSI の復旧不能なメモリーエラーを検出している状態」では、clear memory-error コマンドを実行してもリストアされません。</p>
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Parity error on switch LSI was recovered
レベル	Notification (5)
イベントの説明	SW-LSI メモリーのパリティエラーが手動で復旧されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Parity error was detected on Unit <unit-id>, <memory-name>, <index>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	SW-LSI メモリーエラー（パリティエラーまたは ECC エラー）が検出されたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。</p> <p><memory-name> : パリティエラーが検出されたメモリー名を示します。</p> <p><index> : パリティエラーが検出されたメモリーインデックスを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>SW-LSI のメモリーにおいてパリティエラーが発生している可能性があります。速やかに clear memory-error コマンドを実行し、事象が復旧するかどうかご確認ください。</p> <p>clear memory-error コマンドで事象が復旧した場合は、そのまま継続してご使用ください。複数回 clear memory-error コマンド入力後も事象が再発する場合には、装置再起動をお願いします。再起動後も事象が再発する場合には、装置交換をご検討ください。</p>

1.21 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes DOWN status
レベル	Error (3)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Down 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	計画的なリンクダウンであれば対応は不要です。 MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes LISTENING status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Listening 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能の状態遷移が発生したとき、過渡状態で本ログが出力されます。本ログへの対応は不要ですが、前後のログへの対応を行ってください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> Listening Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Listening 状態に遷移し、リスニングタイマーが満了になったことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	障害が発生したリングを復旧させたときに本ログが出力された場合は、障害が残存している可能性があります。リングの状態を確認してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes FORWARDING status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Forwarding 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	マスターで本ログが出力された場合は、ネットワーク機器あるいは伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。 アウェアで本ログが出力された場合は、対応不要です。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes BLOCKING status
レベル	Notification (5)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Blocking 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> goes FAILURE UP status
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Failure 状態に遷移したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	Failure 状態からの切り戻り方法の設定により、以下のとおり対応してください。 自動切り戻りを設定している場合は、切り戻りタイマー経過後にリング復旧処理が開始されます。 手動切り戻りを設定している場合は、clear mmrp-plus failure ring コマンドを実行し、リング復旧処理を開始してください。

1.21 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> Revertive Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MMRP-Plus のリングポートが Failure 状態に遷移し、Revertive タイマーが満了したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャンネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> All uplink port goes down
レベル	Error (3)
イベントの説明	MMRP-Plus の分散リングのアップリンクポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能によって通信を持続できない状態になっています。 分散マスター装置、または分散スレーブ装置から出力した場合： <ul style="list-style-type: none"> アップリンク側へのトラフィックは、リンクアップしている装置側に集中している状態です。 分散マスター装置、および分散スレーブ装置の両装置から出力した場合： <ul style="list-style-type: none"> アップリンク側との通信が途絶えた状態です。 ハローフレームの送信が停止された状態となり、MMRP-Plus 機能による通信を維持できない状態です。 いずれの場合も、アップリンクポートのリンクダウン障害、またはアップリンクポートに接続した隣接装置の障害の可能性があります。これらの障害を復旧してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> FDB Flush
レベル	Notification (5)
イベントの説明	MMRP-Plus により FDB エントリーが消去されたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能の状態遷移が発生したとき、過渡状態で本ログが出力されます。本ログへの対応は不要ですが、前後のログへの対応を行ってください。

1.21 MMRP-Plus

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> FDB Forwarding Timer Updated
レベル	Notification (5)
イベントの説明	FDB フラッシュイベントを検出し、MAC アドレスの学習を停止する時間が更新されたことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生した可能性があります。ネットワークの障害を復旧させてください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello down detect
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ハローフレームの未受信を検知したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello detect
レベル	Notification (5)
イベントの説明	ハローフレームの再受信を検知したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <Master Slave> <interface-id> Hello Time out
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ハローフレームの受信タイムアウト時間が経過したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <Master> : MMRP-Plus のリングポートがマスターポートであることを示します。 <Slave> : MMRP-Plus のリングポートがスレーブポートであることを示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能の冗長性により通信可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路に障害が発生したか、復旧した可能性があります。ネットワークの状態を確認してください。

ログ表示	MMRP-Plus ring <RINGID> <interface-id> was restarted
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートリスタート機能によりリンクを瞬断したことを示します。
パラメーター	<RINGID> : MMRP-Plus のリング ID を示します。 <interface-id> : MMRP-Plus のリングポートのインターフェース (ポート、ポートチャネル) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	MMRP-Plus 機能により通信は可能な状態ですが、ネットワーク機器または伝送路の障害が発生したが、復旧した可能性があります。ネットワークの状態を確認してください。

1.22 PoE

ログ表示	Port <port> disabled PoE
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ポートの PoE 機能が無効になったことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Port <port> started delivering power, Class <class>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ポートの電力供給が開始したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <class> : 電力クラスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Port <port> stopped delivering power due to power limit, requested class <class>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	要求された電力クラスが、ポートに設定された最大電力を超えたため、ポートの電力供給を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <class> : PD から要求された電力クラスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	最大電力を超えないようにポート、および PD の接続設定を見直してください。

ログ表示	Port <port> PD stopped power request due to MPS absent
レベル	Warning (4)
イベントの説明	MPS (電力シグネチャ) が検出できないため、PD が電力要求を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。

1.22 PoE

対象バージョン	1.08.02
対応	PDに異常がないかご確認ください。ポートのPoE機能が有効になっていることを確認してください。

ログ表示	Port <port> PD stopped power request due to Power Denied
レベル	Warning (4)
イベントの説明	PDが要求した電力が拒否されたため、PDが電力要求を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	装置がPDの電力クラスに対応しているかご確認ください。最大電力を超えないようにPDの接続を見直してください。

ログ表示	Port <port> stopped delivering power due to Over Load
レベル	Warning (4)
イベントの説明	過負荷のため、電力供給を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	当該ポートに接続されたPDの消費電力が、ポートの電力クラス給電Class、または最大電力供給量設定を超えていないかをご確認ください。最大電力を超えないようにPDの接続を見直してください。

ログ表示	Port <port> stopped delivering power due to Power Short
レベル	Warning (4)
イベントの説明	電力ショートが発生したため、電力供給を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	当該ポートに接続されたPDの消費電力をご確認ください。

ログ表示	Port <port> stopped delivering power due to Other fault
レベル	Warning (4)
イベントの説明	その他の異常が発生したため、電力供給を停止したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	装置、またはPDに異常がないかご確認ください。

ログ表示	Unit <unit-id> usage threshold <percentage> is exceeded
レベル	Warning (4)
イベントの説明	総電力使用量がしきい値を超えたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <percentage> : 総電力使用量のしきい値 (%) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	総電力使用量を超えないように PD の接続を見直してください。

ログ表示	Unit <unit-id> usage threshold <percentage> is recovered
レベル	Warning (4)
イベントの説明	総電力使用量がしきい値を下回ったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <percentage> : 総電力使用量のしきい値 (%) を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Fail PoE System Block <unit-id>
レベル	Critical (2)
イベントの説明	PoE 機能に障害が発生したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>状況ごとに対応が異なります。状況に応じた対応を実施してください。</p> <p>(A) CPU 高負荷となったことが原因の場合 show tech-support unit コマンド実施時や、ネットワークループ発生時に CPU 使用率が 100% になることで本ログを出力することがありますが、その場合は対応不要です。</p> <p>(B) 上記以外の場合 装置故障の可能性がります。以下のログを取得し、装置電源を OFF にして、サポート対応窓口までお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show tech-support <p>運用ポリシーなどにより show tech-support の取得が難しい場合は、以下ログを取得してご送付ください。</p>

	<ul style="list-style-type: none">• show environment• show unit• show logging all• debug show cpu utilization• debug show error-log• show tech-support poe
--	---

1.23 PD モニタリング

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] start
レベル	Informational (6)
イベントの説明	PD 監視を開始したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] [restart-poe] detected pd-down, restart PoE
レベル	Warning (4)
イベントの説明	PD のダウンを検出し、PoE 機能のリスタートにより PD を再起動させたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ログ出力、および PD の再起動が繰り返される場合、PD が異常状態の可能性があり、必要に応じて PD の状態を確認してください。

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] [notify-only] detected pd-down
レベル	Warning (4)
イベントの説明	アクションを notify-only に設定したポートで、PD のダウンを検出したことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ログが繰り返し出力される場合、PD が異常状態の可能性があり、必要に応じて PD の状態を確認してください。

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] retry times is expired, stop PoE
レベル	Error (3)

1.23 PD モニタリング

イベントの説明	PD 監視の再起動リトライ回数を超えたため、PoE 機能が無効になったことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	PD が異常状態の可能性がります。必要に応じて PD の状態を確認してください。

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] auto-recovery time expired, restart PoE
レベル	Informational (6)
イベントの説明	再起動リトライ回数を超えて PoE 機能を無効にした状態から、自動復旧時間が経過して PoE 機能が有効になったことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<port> pd-monitoring [<mode>] restart PoE manually
レベル	Informational (6)
イベントの説明	再起動リトライ回数を超えて PoE 機能を無効にした状態から、コマンドにより PoE 機能を有効にしたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。 <mode> : PD モニタリングのモード(ACL-mode、もしくは ICMP-mode)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.24 Port

ログ表示	Port<port> link up, <nway>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ポートがリンクアップしたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。(例 : 1/0/1) <nway> : リンク速度とデュプレックスモードを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Port<port> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	ポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<port> : ポート番号を示します。(例 : 1/0/1)
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Management port link up, <nway> Unit <unit-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	マネージメントポートがリンクアップしたことを示します。 スタック構成の場合、対応する標準 linkUp トラップは、マスター装置のマネージメントポートの場合のみ出力されます。
パラメーター	<nway> : リンク速度とデュプレックスモードを示します。 <unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.10.01
対応	不要

ログ表示	Management port link down, Unit <unit-id>
レベル	Error (3)
イベントの説明	マネージメントポートがリンクダウンしたことを示します。 スタック構成の場合、対応する標準 linkDown トラップは、マスター装置のマネージメントポートの場合のみ出力されます。
パラメーター	<unit-id> :

1.24 Port

	ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.10.01
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Port <port-num> <tr-type> has been inserted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SFP/SFP+ポートに SFP/SFP+トランシーバーが挿入されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。 <tr-type> : トランシーバータイプを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Unit <unit-id>, Port <port-num> transceiver has been removed
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SFP/SFP+ポートから SFP/SFP+トランシーバーが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.25 Power

ログ表示	Unit <unit-id>, Power <power-id> failed
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源電圧が異常であることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-id> : 電源ユニット ID を示します。ApresiaNP2500 シリーズの場合は 1 です。
対象バージョン	1.08.02
対応	show unit コマンド、および show environment コマンドで状況を確認後、show tech-support コマンドで各種情報を取得し、必要があれば装置交換をご検討ください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Power <power-id> back to normal
レベル	Informational (6)
イベントの説明	電源電圧が正常状態へ復旧したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <power-id> : 電源ユニット ID を示します。ApresiaNP2500 シリーズの場合は 1 です。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.26 SNMP

ログ表示	SNMP request received from <ip-address> with invalid community string
レベル	Warning (4)
イベントの説明	SNMP 要求を、無効なコミュニティー文字列で受信したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p><ip-address>が適正である場合、ネットワーク管理装置の設定を確認し、利用している SNMP のバージョンに応じて、各設定（コミュニティー名、認証パスワード、グループのアクセス権）が正しいか確認してください。</p> <p><ip-address>が不正である場合、不正なアクセスの可能性があります。ネットワーク管理装置の IP アドレスを指定する、または利用している SNMP のバージョンに応じて、各設定（コミュニティー名、認証パスワード、グループのアクセス権）を変更することで、装置に対する不正なアクセスを防ぐことができます。</p>

1.27 SSH

ログ表示	SSH server is enabled SSH server is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH サーバーが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Successful login through SSH (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、SSH でのログインに成功したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン成功ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Login failed through SSH (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、SSH でのログインに失敗したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン失敗ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	設定、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。 access-class コマンドを使用すると、クライアントの IP アドレスによるアクセス制限が可能です。

ログ表示	Logout through SSH (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH セッションからログアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。

1.27 SSH

	<client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	SSH session timed out (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	SSH セッションがタイムアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.10.02
対応	不要

1.28 スタック

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Hot insertion
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ホットインサージョンを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的に行っていない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Hot removal
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ホットリムーバルを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的に行っていない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Stacking topology is <stack-tp-type>. Master(Unit <unit-id>, MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックトポロジーの変更を示します。
パラメーター	<stack-tp-type> : スタックトポロジータイプ (Ring, Chain) を示します。 <unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的にトポロジーを変更していない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態

1.28 スタック

	<ul style="list-style-type: none"> • スタックポートのリンク状態
--	---

ログ表示	Backup master changed to master. Master (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	バックアップマスターがマスターに変わったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的な状態遷移でない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • マスターの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Slave changed to master. Master (Unit <unit-id>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スレーブがマスターに変わったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的な状態遷移でない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • マスターの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Hot insert failed, box ID conflict: Unit <unit-id>, conflict (MAC: <mac-address> and MAC: <mac-address>)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ボックス ID の不一致を示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : 重複している装置の MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	ボックス ID を自動割り当てに切り替えるか、ボックス ID が重複しないように設定してください。

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> link up, <nway>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックポートがリンクアップしたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。

	<mac-address> : MAC アドレスを示します。 <port-num> : ポート ID を示します。 <nway> : リンクの動作速度とデュプレックスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的なリンクアップでない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> link down
レベル	Error (3)
イベントの説明	スタックポートがリンクダウンしたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的なリンクダウンでない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> <tr-type> has been inserted
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スタックポートに設定した SFP/SFP+ポートに SFP+トランシーバーが挿入されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。 <port-num> : ポート ID を示します。 <tr-type> : トランシーバータイプを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.28 スタック

ログ表示	Unit <unit-id>, MAC: <mac-address> Stackport <port-num> transceiver has been removed
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スタックポートに設定した SFP/SFP+ポートから SFP+トランシーバーが取り外されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Hello timeout occurs: Unit <unit-id> Stackport <port-num>
レベル	Error (3)
イベントの説明	ハローフレームの受信タイムアウト時間が経過したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	スタックメンバーの状態を確認してください。

ログ表示	Unit <unit-id> fails to send a stacking message. (Type: <msg-type>, Sub type: <sub-type>)
レベル	Debugging (7)
イベントの説明	スタックメッセージの送信に失敗したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <msg-type> : スタックメッセージタイプを示します。 Sub type: <sub-type> : スタックメッセージのサブタイプを示します。サブタイプが存在しない場合は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	このログは、メーカーでの解析を補助するための Debugging レベルのメッセージです。装置起動時、意図的なスタック状態の変更時、または運用中に散発的に出力される場合は対応不要です。 スタック構成の装置が CPU 高負荷状態になった場合にも本ログが出力されることがありますが、その際には CPU 高負荷状態の原因を確認してください。

1.28 スタック

ログ表示	Stacking starts to configure new units. Master (Unit <unit-id>, MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックメンバー間での構成情報の同期処理が開始されたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : マスターのボックス ID を示します。 <mac-address> : マスターの MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Stacking detects new units. (MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	新しいスタックメンバーを検知したことを示します。
パラメーター	<mac-address> : 新しく追加されたスタックメンバーの MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Stacking role changed to <role>. (MAC: <mac-address>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スタックの役割が変更したことを示します。
パラメーター	<role> : 変更後の役割を示します。 <mac-address> : MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Stacking configure stage timeout occurred. Restart election.
レベル	Error (3)
イベントの説明	スタックの構成情報の同期処理でタイムアウトが発生し、スタックの役割選択状態に戻ったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	意図的なリンクダウンでない場合は、以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

1.28 スタック

ログ表示	Stacking detects abnormal link status and try to recover: Unit <unit-id> Stackport <port-num>
レベル	Error (3)
イベントの説明	異常なリンク状態を検知したため、復旧しようとしていることを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <port-num> : ポート ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	以下を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> • スタックメンバーの状態 • スタックポートのリンク状態

1.29 Storm Control

ログ表示	<Broadcast Multicast Unicast> storm is occurring on <interface-id> [(port-channel <group-id>)]
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースでストームが検知されたことを示します。
パラメーター	<p><Broadcast> : ブロードキャストパケット (DA = FF:FF:FF:FF:FF:FF) によって、ストームが発生しています。</p> <p><Multicast> : 不明な L2 マルチキャスト、既知の L2 マルチキャスト、不明な IP マルチキャスト、および既知の IP マルチキャストを含む、マルチキャストパケットによって、ストームが発生しています。</p> <p><Unicast> : 既知および不明なユニキャストパケットを含む、ユニキャストパケットによって、ストームが発生しています。</p> <p><interface-id> : ストームが発生しているインターフェース ID を示します。</p> <p><group-id> : ストームが発生しているメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。</p>
対象バージョン	<p>1.08.02</p> <p>1.10.01 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート</p>
対応	検知したインターフェースでネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。

ログ表示	<Broadcast Multicast Unicast> storm is cleared on <interface-id> [(port-channel <group-id>)]
レベル	Informational (6)
イベントの説明	インターフェースでストームが解消されたことを示します。
パラメーター	<p><Broadcast> : ブロードキャストストームが解消されています。</p> <p><Multicast> : マルチキャストストームが解消されています。</p> <p><Unicast> : ユニキャストストーム (既知および不明なユニキャストパケットを含む) が解消されています。</p> <p><interface-id> : ストームが解消されたインターフェース ID を示します。</p> <p><group-id> : ストームが解消されたメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID</p>

1.29 Storm Control

	を示します。
対象バージョン	1.08.02 1.10.01 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート
対応	不要

ログ表示	<interface-id> [(port-channel <group-id>)] is currently shut down due to the <Broadcast Multicast Unicast> storm
レベル	Critical (2)
イベントの説明	インターフェースがストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。
パラメーター	<p><interface-id> : ストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェース ID を示します。</p> <p><group-id> : ストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたメンバーポートが所属するポートチャネルのグループ ID を示します。</p> <p><Broadcast> : ブロードキャストストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p> <p><Multicast> : マルチキャストストームによってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p> <p><Unicast> : ユニキャストストーム (既知および不明なユニキャストパケットを含む) によってシャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたことを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02 1.10.01 : ポートチャネルでのストームコントロールをサポート
対応	<p>検知したインターフェースでネットワークループが発生している可能性があります。ネットワーク内の配線や接続などを確認し、ループの原因を取り除いてください。</p> <p>自動復旧設定 (errdisable recovery cause storm-control コマンド) の場合は、シャットダウン (err-disabled 状態に変更) されてから設定した時間が経過すると、インターフェースの閉塞は自動的に復旧されます。</p> <p>シャットダウン (err-disabled 状態に変更) されたインターフェースを手動で復旧させる場合は、shutdown コマンドで一度閉塞してから、no shutdown コマンドでインターフェースの閉塞を解除してください。</p>

1.30 スパニングツリープロトコル

ログ表示	Spanning Tree Protocol is enabled Spanning Tree Protocol is disabled
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スパニングツリープロトコルが有効、または無効に変更されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Topology changed (Instance:<instance-id>, <interface-id>, MAC:<mac-address>)</p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Topology changed (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>, MAC:<mac-address>)</p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のトポロジーが変化したことを示します。
パラメーター	<p><instance-id> : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p><vlan-id> : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p><interface-id> : トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p><mac-address> : ブリッジの MAC アドレスを示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	回線状態を確認してください。

1.30 スパニングツリープロトコル

ログ表示	<p>■ STP/RSTP モード New Root bridge selected (MAC:<mac-address>, Priority:<priority>)</p> <p>■ MSTP モード CIST New Root bridge selected (MAC:<mac-address>, Priority:<priority>) CIST Regional New Root bridge selected (MAC:<mac-address>, Priority:<priority>) MSTI Regional New Root bridge selected (Instance:<instance-id>, MAC:<mac-address>, Priority:<priority>)</p> <p>■ RPVST+モード New Root bridge selected (VLAN:<vlan-id>, MAC:<mac-address>, Priority:<priority>)</p>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	新たにルートブリッジが選出されたことを示します。
パラメーター	<p><instance-id> : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p><vlan-id> : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p><mac-address> : ブリッジの MAC アドレスを示します。</p> <p><priority> : ブリッジ優先度の値は、4096 で割り切れる必要があります。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード New root port selected (Instance:<instance-id>, <interface-id>)</p> <p>■ RPVST+モード New root port selected (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>)</p>
レベル	Notification (5)
イベントの説明	新たにルートポートが選出されたことを示します。
パラメーター	<p><instance-id> : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p><vlan-id> : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p><interface-id> : トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.30 スパニングツリープロトコル

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Spanning Tree port status change (Instance:<instance-id>, <interface-id>) <old-status>-><new-status></p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Spanning Tree port status change (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>) <old-status>-><new-status></p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のポート状態に変更が発生したことを示します。
パラメーター	<p><instance-id> :</p> <p>MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p><vlan-id> :</p> <p>スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p><interface-id> :</p> <p>トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p><old-status> : 変更前のポート状態を示します。</p> <p><new-status> : 変更後のポート状態を示します。</p> <p>スパニングツリープロトコルのポート状態を示します。値は Disable、Discarding、Learning、Forwarding です。</p>
対象バージョン	1.08.02
対応	回線状態を確認してください。

ログ表示	<p>■ STP/RSTP/MSTP モード</p> <p>Spanning Tree port role change (Instance:<instance-id>, <interface-id>) <old-role>-><new-role></p> <p>■ RPVST+モード</p> <p>Spanning Tree port role change (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>) <old-role>-><new-role></p>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	スパニングツリー(xSTP)のポート役割に変更が発生したことを示します。
パラメーター	<p><instance-id> :</p> <p>MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。</p> <p><vlan-id> :</p> <p>スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。</p> <p><interface-id> :</p> <p>トポロジー変更情報を検知または受信するポート番号を示します。</p> <p><old-role> : 変更前のポート役割を示します。</p> <p><new-role> : 変更後のポート役割を示します。</p> <p>スパニングツリープロトコルのポート役割を示します。値は Disable、Alternate、Backup、Root、Designated、Master です。</p>
対象バージョン	1.08.02

1.30 スパニングツリープロトコル

対応	回線状態を確認してください。
----	----------------

ログ表示	Spanning Tree version change (new version:<new-version>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	スパニングツリープロトコルのモードが変更されたことを示します。
パラメーター	<new-version> : 実行中のスパニングツリープロトコルを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ MSTP モード Spanning Tree MST configuration ID name and revision level change (name:<name> revision level: <revision-level>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP コンフィグで、リージョン名とリビジョンレベルが変更されたことを示します。
パラメーター	<name> : 特定の MSTP リージョンに付与する名前を示します。 <revision-level> : 指定した名前が同じでも、リビジョンレベルが異なる装置は、別の MSTP リージョンのメンバーと見なされます。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ MSTP モード Spanning Tree instance created (Instance:<instance-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスが追加されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : 追加された MSTP インスタンス ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ MSTP モード Spanning Tree instance deleted (Instance:<instance-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスが削除されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : 削除された MSTP インスタンス ID を示します。

1.30 スパニングツリープロトコル

対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ MSTP モード Spanning Tree MST configuration ID VLAN mapping table change (Instance:<instance-id> add vlan:<vlan-ids>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスに VLAN が追加されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP インスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-ids> : 追加する VLAN を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ MSTP モード Spanning Tree MST configuration ID VLAN mapping table change (Instance:<instance-id> delete vlan:<vlan-ids>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	MSTP インスタンスに関連付けられた VLAN が削除されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP インスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-ids> : 削除する VLAN を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ RPVST+モード Spanning Tree VLAN created (VLAN:<vlan-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RPVST+を使用する VLAN が追加されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : 追加された VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.30 スパニングツリープロトコル

ログ表示	■ RPVST+モード Spanning Tree VLAN deleted (VLAN:<vlan-id>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	RPVST+を使用する VLAN が削除されたことを示します。
パラメーター	<vlan-id> : 削除された VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	■ STP/RSTP/MSTP モード Spanning Tree port role change (Instance:<instance-id>, <interface-id>) to alternate port due to the guard root ■ RPVST+モード Spanning Tree port role change (VLAN:<vlan-id>, <interface-id>) to alternate port due to the guard root
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ガードルートによりポート役割が alternate に変更されたことを示します。
パラメーター	<instance-id> : MSTP モードにおけるインスタンス ID を示します。インスタンス 0 は、デフォルトインスタンス用の CIST です。 <vlan-id> : スパニングツリープロトコルが有効になっている VLAN ID を示します。 <interface-id> : イベントを検知するポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Invalid BPDU received on <interface-id>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	無効な BPDU を受信したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : イベントを検知したポート番号を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	本装置、および隣接装置のスパニングツリーに関する設定を確認してください。 パケットキャプチャにより BPDU パケットの中身を調べ、異常有無を確認してください。

1.31 システム

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System started up ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System started up
レベル	Critical (2)
イベントの説明	装置が起動、または再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System warm start (CONSOLE) ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System warm start (CONSOLE)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	コンソールを介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System warm start (TELNET) ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System warm start (TELNET)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	Telnet を介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.31 システム

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System warm start (SSH) ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System warm start (SSH)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	SSH を介したコマンド操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System warm start (SNMP) ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System warm start (SNMP)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	probeResetControl オブジェクトを warmBoot (2) に設定する SNMP 操作により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<ul style="list-style-type: none"> ■ 非スタック装置 System cold start ■ スタック構成 Unit <unit-id>, System cold start
レベル	Critical (2)
イベントの説明	電源供給の開始による装置起動、または cold オプションを指定して reboot コマンドを実行し装置が起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	System cold start (SNMP)
レベル	Critical (2)
イベントの説明	probeResetControl オブジェクトを coldBoot (3) に設定する SNMP 操作により装置が再起動したことを示します。

1.31 システム

パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<p>■ 非スタック装置 System re-start reason: CPU Exception</p> <p>■ スタック構成 Unit <unit-id>, System re-start reason: CPU Exception</p>
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	CPU 例外を検知したため、再起動を行ったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show environment • show unit • show logging all • debug show cpu utilization • debug show error-log • show tech-support

ログ表示	<p>■ 非スタック装置 System re-start reason: System Fatal Error</p> <p>■ スタック構成 Unit <unit-id>, System re-start reason: System Fatal Error</p>
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	ソフトウェア動作の異常を検知したため、再起動を行ったことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show environment • show unit • show logging all • debug show cpu utilization • debug show error-log • show tech-support

1.31 システム

ログ表示	<p>■ 非スタック装置 System re-start reason: Watch Dog</p> <p>■ スタック構成 Unit <unit-id>, System re-start reason: Watch Dog</p>
レベル	Critical (2)
イベントの説明	ウォッチドッグタイマー機能により装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show environment • show unit • show logging all • debug show cpu utilization • debug show error-log • debug show wd-error-log • show tech-support

ログ表示	<p>■ 非スタック装置 System re-start reason: CPU Protect</p> <p>■ スタック構成 Unit <unit-id>, System re-start reason: CPU Protect</p>
レベル	Critical (2)
イベントの説明	<p>AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 以降では、システムメモリー (SYS_MEM、SYS_HUGE、SEC_MEM、その他監視対象のメモリー) を割り当てることができない状態が 1 分間続いたことを検知したことにより、装置が再起動したことを示します。</p> <p>AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 より前のバージョンでは、cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot コマンドの機能により、装置が再起動したことを示します。</p>
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。スタック未使用時は表示されません。
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • show environment • show unit • show logging all • debug show cpu utilization • debug show error-log • show tech-support

1.31 システム

ログ表示	System status goes normal.
レベル	Notification (5)
イベントの説明	システム状態が正常に戻ったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	System status goes abnormal.
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	システム状態に問題が発生したことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	検出された障害コードに応じて対応ください。

ログ表示	Unit:<unit-id> System Status Code is changed (<failure-code>-<failure-code>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	装置によって検出された障害コードが変更されたことを示します。
パラメーター	<p><unit-id> : ボックス ID を示します。</p> <p><failure-code> : 装置によって検出された障害コードを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての bit=0 (0x00000) : 正常状態 • bit[8]=1 (0x00100) : 電源の障害 • bit[10]=1 (0x00400) : ファンの障害 • bit[11]=1 (0x00800) : 温度異常 • bit[14]=1 (0x04000) : SW-LSI のメモリーエラー • bit[15]=1 (0x08000) : SW-LSI の復旧不能なメモリーエラー • bit[16]=1 (0x10000) : SW-LSI のメモリーエラー (ハードエラー) • bit[17]=1 (0x20000) : SW-LSI の復旧不能なメモリーエラー (ハードエラー)
対象バージョン	1.08.02
対応	<p>電源、ファン、または温度に異常が発生した場合、電源、装置ファンの故障が考えられます。電源の供給状態や装着状況、ファンの回転状況を確認後、異常があればサポート対応窓口にお問い合わせください。</p> <p>記載されていない障害コードが出力された場合、ハードウェア障害の可能性があるため、サポート対応窓口にお問い合わせください。</p>

ログ表示	Task Stack Over flow: Unit <unit-id>.Task: <task-name>
レベル	Alert (1)

1.31 システム

イベントの説明	タスクのスタックオーバーフローが発生したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <task-name> : オーバーフローしたタスク名を示します。
対象バージョン	1.10.01
対応	以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。 <ul style="list-style-type: none">• show environment• show unit• show logging all• debug show cpu utilization• debug show error-log• show tech-support

1.32 Telnet

ログ表示	Successful login through Telnet (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Notification (5)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、Telnet でのログインに成功したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン成功ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	Login failed through Telnet (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	AAA 機能が無効な場合の、Telnet でのログインに失敗したことを示します。AAA 機能が有効な場合のログイン失敗ログは AAA 章を参照してください。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	設定、ユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。 access-class コマンドを使用すると、クライアントの IP アドレスによるアクセス制限が可能です。

ログ表示	Logout through Telnet (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Telnet セッションからログアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.32 Telnet

ログ表示	Telnet session timed out (Username: <user-name>, IP: <client-ip>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Telnet セッションがタイムアウトしたことを示します。
パラメーター	<user-name> : ユーザー名を示します。ログイン時にユーザー名を入力する必要のない設定パターンの場合は、ユーザー名は "Anonymous" になります。 <client-ip> : クライアントの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.33 Temperature

ログ表示	Unit <unit-id>, Sensor: <sensor-id> detects abnormal temperature <degree>C
レベル	Critical (2)
イベントの説明	外気温度が、装置の動作周囲温度の上限を著しく超えたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <sensor-id> : センサーID を示します。 <degree> : 現在の温度を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	装置周辺の環境などを確認して、外気温度を動作周囲温度（0～50℃）の範囲内に調整してください。

ログ表示	Unit <unit-id>, Sensor: <sensor-id> temperature back to normal
レベル	Critical (2)
イベントの説明	温度センサーが正常温度への復旧を検知したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <sensor-id> : センサーID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.34 単方向リンク検出 (ULD)

ログ表示	ULD <interface-id> is detected as unidirectional link
レベル	Warning (4)
イベントの説明	インターフェースで単方向リンクが検出されたことを示します。
パラメーター	<interface-id> : 単方向リンクが検知されているインターフェースを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	対向装置のポート設定、ステータス、および伝送路を確認してください。

1.35 Voice VLAN

ログ表示	New voice device detected (<interface-id>, MAC:<mac-address>)
レベル	Informational (6)
イベントの説明	インターフェースで Voice VLAN 端末もしくは LLDP-MED 端末を検知したことを示します。
パラメーター	<interface-id> : Voice VLAN 端末もしくは LLDP-MED 端末を検知したインターフェースを示します。 <mac-address> : 検知した Voice VLAN 端末もしくは LLDP-MED 端末の MAC アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<interface-id> add into voice VLAN <vlan-id>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Voice VLAN の動作モードが自動モードで最初に端末が登録されたため、インターフェースに Voice VLAN が割り当てられたことを示します。
パラメーター	<interface-id> : Voice VLAN が割り当てられたインターフェースを示します。 <vlan-id> : Voice VLAN の VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	<interface-id> remove from voice VLAN <vlan-id>
レベル	Informational (6)
イベントの説明	Voice VLAN の動作モードが自動モードですべての端末が削除されたため、割り当てられた Voice VLAN が削除されたことを示します。
パラメーター	<interface-id> : Voice VLAN が削除されたインターフェースを示します。 <vlan-id> : Voice VLAN の VLAN ID を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)

ログ表示	ZTP : ZTP processing started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ZTP 処理が開始したことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : DHCP connection timeout
レベル	Warning (4)
イベントの説明	DHCP サーバー接続に失敗したことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCP サーバーが正しく接続されているか、または正しく起動しているか確認してください。

ログ表示	ZTP : DHCP <ip-address> : TFTP Server information was not found
レベル	Warning (4)
イベントの説明	DHCP ACK メッセージから TFTP サーバーの情報が見つからなかったことを示します。
パラメーター	<ip-address> : DHCP サーバーの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCP サーバーの設定を確認してください。

ログ表示	ZTP : DHCP no gateway IP address
レベル	Warning (4)
イベントの説明	指定された TFTP サーバーの IP アドレスに対応するゲートウェイ IP アドレスの情報が含まれていないことを示します。なお、同一サブネットに TFTP サーバーが存在する場合、このログは表示されません。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	DHCP サーバーの設定を確認してください。

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> ARP no reply
レベル	Warning (4)
イベントの説明	TFTP サーバーから ARP 応答がなかったことを示します。TFTP サーバーが別のサ

1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)

	ブネットの IP アドレスの場合、装置はゲートウェイに ARP 要求を送信します。ゲートウェイが ARP 応答しない場合、<ip-address>にはゲートウェイの IP アドレスを表示します。
パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	TFTP サーバーの状態を確認してください。DHCP サーバーの設定を確認してください。

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> : <filename> download started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファイルのダウンロードを開始したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> : <filename> download succeeded
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファイルのダウンロードに成功したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : IMAGE <filename> <reason>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	ブートイメージファイルのダウンロードに失敗したことを示します。
パラメーター	<filename> : ブートイメージファイル名を示します。 <reason> : 失敗理由を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • file name size over : ファイル名サイズオーバー • TFTP connection failed : TFTP サーバーに接続失敗 • file not found : ファイルが見つからない • file access error : ファイルアクセスエラー

1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)

	<ul style="list-style-type: none"> • TFTP timeout : TFTP タイムアウト • invalid file : 不正なファイル • disk full or allocation exceeded : ディスク空き容量なし、または容量不足 • flash access error : フラッシュアクセスエラー
対象バージョン	1.08.02
対応	失敗理由に従い、TFTP サーバーの接続状態、ダウンロード対象のファイルの状態を確認してください。

ログ表示	ZTP : CONFIG <filename> <reason>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	構成情報ファイルのダウンロードに失敗したことを示します。
パラメーター	<filename> : 構成情報ファイル名を示します。 <reason> : 失敗理由を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • file name size over : ファイル名サイズオーバー • TFTP connection failed : TFTP サーバーに接続失敗 • file not found : ファイルが見つからない • file access error : ファイルアクセスエラー • TFTP timeout : TFTP タイムアウト • invalid file : 不正なファイル • disk full or allocation exceeded : ディスク空き容量なし、または容量不足 • flash access error : フラッシュアクセスエラー
対象バージョン	1.08.02
対応	失敗理由に従い、TFTP サーバーの接続状態、ダウンロード対象のファイルの状態を確認してください。

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> : update started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ZTP のアップデート処理を開始したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> : <filename> update started
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファイルの更新を開始したことを示します。

1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)

パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : TFTP <ip-address> : <filename> update succeeded
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ファイルの更新に成功したことを示します。
パラメーター	<ip-address> : TFTP サーバーの IP アドレスを示します。 <filename> : ファイル名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : rebooting started by ZTP
レベル	Informational (6)
イベントの説明	ZTP による再起動が開始されたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : Passed processing because <filename> is the same
レベル	Warning (4)
イベントの説明	TFTP サーバーからブートイメージファイルの情報を取得し、同じファイルだったことを示します。
パラメーター	<filename> : ブートイメージファイル名を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	ZTP : interrupted ZTP processing from console
レベル	Warning (4)
イベントの説明	コンソールから ZTP 処理中断を受け付けたことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02

1.36 ZTP (Zero Touch Provisioning)

対応	不要
----	----

1.37 システムメモリー使用率監視

ログ表示	AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 以降 Unit <unit-id> Memory pool <name> utilization exceeded <percentage> AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 より前のバージョン Unit <unit-id> System memory <code> utilization exceeded <percentage>
レベル	Warning (4)
イベントの説明	システムメモリー使用率が、cpu-protect system-memory limit-check threshold コマンドで設定したしきい値を超えたことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <name> : 対象のシステムメモリー名を示します。 <code> : 装置によって検出された障害コードを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • bit0 (0x001) : SYS_MEM • bit1 (0x002) : SYS_HUGE • bit2 (0x004) : SEC_MEM <percentage> : システムメモリーの使用率のしきい値(%)を示します。
対象バージョン	1.08.02 1.08.04 : ログの構文、および<code>パラメーターを<name>パラメーターに変更
対応	不要

ログ表示	AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 以降 Unit <unit-id> System restart due to memory allocation failure <name> AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 より前のバージョン Unit <unit-id> System restart due to memory allocation failure <code>
レベル	Emergency (0)
イベントの説明	AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 以降では、システムメモリー (SYS_MEM、SYS_HUGE、SEC_MEM、その他監視対象のメモリー) を割り当てることができない状態が1分間続いた場合に、装置が再起動したことを示します。 AEOS-NP2500 Ver. 1.08.04 より前のバージョンでは、cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot コマンドの機能により、装置が再起動したことを示します。
パラメーター	<unit-id> : ボックス ID を示します。 <name> : 対象のシステムメモリー名を示します。

1.37 システムメモリー使用率監視

	<p><code> :</p> <p>装置によって検出された障害コードを示します。</p> <ul style="list-style-type: none">• bit0 (0x001) : SYS_MEM• bit1 (0x002) : SYS_HUGE• bit2 (0x004) : SEC_MEM
対象バージョン	<p>1.08.02</p> <p>1.08.04 : <code>パラメーターを<name>パラメーターに変更、cpu-protect system-memory limit-check fault-action reboot コマンド削除に伴う修正</p>
対応	<p>以下のログを取得し、サポート対応窓口まで送付ください。</p> <ul style="list-style-type: none">• show environment• show unit• show logging all• debug show cpu utilization• debug show error-log• show tech-support

1.38 CPU 使用率監視

ログ表示	CPU utilization has exceeded the threshold (before <before-value>, current <current-value>)
レベル	Warning (4)
イベントの説明	CPU 使用率が指定したしきい値を上回ったことを示します。
パラメーター	<before-value> : 前回の監視タイミングでの CPU 使用率(%)を示します。 <current-value> : 今回の監視タイミングでの CPU 使用率(%)を示します。
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	CPU utilization has become less than the threshold
レベル	Informational (6)
イベントの説明	CPU 使用率が指定したしきい値を下回ったことを示します。
パラメーター	なし
対象バージョン	1.08.02
対応	不要

ログ表示	CPU dynamic receive rate suppression finish (start time:<date-time>, minimum rate:<rate>pps)
レベル	Debugging (7)
イベントの説明	1 秒間の平均 CPU 使用率が 99%以上になったため、CPU 宛パケットの受信レート抑制が行われていたことを示します。なお、このログは 1 秒間の平均 CPU 使用率が 94%以下になり、CPU 宛パケットの受信レート抑制が終了した時点で出力されます。
パラメーター	<date-time> : CPU 宛パケットの受信レート抑制が開始された時刻 (例 : 2019-12-31 23:59:59) <rate> : 設定された最小受信レート (例 : 1000)
対象バージョン	1.10.01
対応	不要

AEOS-NP2500 Ver. 1.10 システムログ対応一覧

Copyright(c) 2022 APRESIA Systems, Ltd.

2022年4月 初版

2022年6月 第2版

APRESIA Systems 株式会社

東京都中央区築地二丁目3番4号

築地第一長岡ビル

<https://www.apresiasystems.co.jp/>